

令和5年度 家庭科 第5・6学年 評価規準

大題材名	ガイダンス			教科書のページ	表2～p.5
配当時数	1時間	活動時期	4月	学習指導要領の内容	A(1)ア

大題材の目標		4年生までの学習や生活を振り返る中で自分の成長を自覚するとともに、家庭科に関心を持ち、学ぶ内容や学び方、教科のねらいなどを理解し、見通しをもって2年間の学習に取り組もうとする意欲を持つ。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	家庭科の目標や内容並びに生活を見つめる見方・考え方や学び方について理解している。また、自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気づいている。
	思考・判断・表現	-
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、2学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)自分の成長を見つめよう ★他教科との関連:特別活動, 生活, 社会, 理科			
・第4学年までの学習と生活の中で家庭科に関連することを探してみよう。 表2	0.25	①イラストを参考にして、第4学年までの学習や生活の中で、できるようになったことなどを発表し合う。 ②また、家庭で行って家族に喜ばれたりした経験等を発表し合い、自分の成長を支えている家庭生活や家族の大切さに気づくことができるようにする。	[知技]発言・行動観察 [態度]発言・行動観察
(2)2年間の学習を見通して、知りたいことやできるようになりたいことを書いてみよう			
・2年間の学習を見通し、知りたいことやできるようになりたいことを書いてみよう。 表2～3	0.5	①p.1～2の目次により、学習内容を理解する。 ②p.2「いつも確かめよう」などを参照しながら、家庭科で知りたいことやできるようになりたいことを書く。	[知技]発言・行動観察 [態度]発言・行動観察
(3)家庭科の学び方や生活の見方・考え方を知り、どのような自分を目指して学んでいきたいかを発表し合おう。			
・家庭科の学び方や生活の見方・考え方を知り、どのような自分を目指して学んでいきたいかを発表し合おう。 p.4～5	0.25	①やりたいことやできるようになりたいことを発表し合い、p.4「学習の進め方」を参照して学び方を理解する。 ②また、p.4「家庭科の窓」に示された生活の見方・考え方と自分の願いがどう関連しているのかを考える。 ③家庭科ではどんな自分を目指したいかを発表し合う。	[知技]発言・行動観察 [態度]発言・行動観察

大題材名	1. 私の生活, 大発見!			教科書の ページ	p.6~13
配当時数	4 時間	活動時期	4~5 月	学習指導要 領の内容	A(2)アイ, B(2)ア(イ)

大題材の目標		家庭の仕事について, 家族との「協力」などの視点から, 課題をもって, 基礎的・基本的な知識を身につけ, 家族の一員として, 家庭の仕事の計画を工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	家庭には, 家庭生活を支える仕事があり, たがいに協力し分担する必要があることを理解している。
	思考・判断・表現	家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定し, さまざまな解決方法を考え, 実践を評価・改善し, 考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に 取り組む態度	家族の一員として, 生活をよりよくしようと, 家族や地域の人々との関わりについて, 課題の解決に向けて主体的に取り組んだり, ふり返って改善したりして, 生活を工夫し, 実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)どんな生活をしているのかな			
家庭にある仕事を見つけよう。自分や家族がどのように取り組んでいるか見てみよう。 p.6~7	1	①自分の1日の生活を見つめ, 家族の存在や家族が協力して家庭の仕事をになって支え合っていることに気づく。	[思判表]発言・記録
(2)自分にできそうな家庭の仕事を見つけよう			
家庭で使う用具を知り, その用具を使って活動してみよう。 p.8~12	2	①家庭科室の正しい使い方や, 安全面の注意点を理解する。 ②家庭の仕事の道具の一つであるガスコンロの正しい使い方を知り, お茶をいれる。 ③協力してお茶をいれ, 後かたづけをする。	★他教科との関連: 理科 [知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)できることを増やしていこう			
家族の一員として, 進んで家庭生活に関わる計画を立てよう。 p.13	1	①家族の一員として自分にできることを見つけて実践の計画を立てる。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

大題材名	2. おいしい楽しい調理の力			教科書の ページ	p.14～23
配当時数	6 時間	活動時期	5～6 月	学習指導要 領の内容	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)イ

大題材の目標		ゆでる調理について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、おいしく食べるための調理計画を考え、調理の仕方を工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	ゆでる調理の計画や調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。
	思考・判断・表現	おいしく食べるためにゆでる調理の計画や調理の仕方について問題を見いだし、課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に 取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)調理の目的や手順を考えよう			
・どのように調理をすすめたらよいか考えよう。 p.14～15	1	①教科書 p.14 の写真を見て、材料をどのように調理するとおいしく食べられるか考える。 ②調理することで、どのようなよい点があるのか話し合う。	[思判表]発言・記録
(2)ゆでる調理をしよう			
・食品や調理の目的に合ったゆで方が分かり、安全に野菜やいもなどがゆでられるようになろう。 p.16～21	4	①野菜やいもの種類によってゆで方のちがいを考える。 ②青菜とじゃがいもをゆで、ゆでる前とゆでた後の変化について調べる。 ③切り方やゆで方、調理の手順を確認し、好みに合ったゆで野菜サラダを作る。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)工夫しておいしい料理にしよう			
・ゆでる調理の仕方を工夫したりして、食事作りに生かそう。 p.22～23	1	①調理実習をふり返り、上手にできた点や課題点を出し合い、おいしく調理するための野菜のゆで方のポイントを話し合う。 ②学んだことを生かして、家庭でゆで野菜サラダを作る計画を立てる。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

大題材名	3. ひと針に心をこめて			教科書の ページ	p.24～30
配当時数	9 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要 領の内容	B(4)ア(イ), (5)ア(7)(イ) イ

大題材の目標		生活を豊かにするための布を用いた手ぬいの製作について、「健康・快適・安全」の視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、製作計画を考え、製作を工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	製作計画や手ぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。
	思考・判断・表現	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に 取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)針と糸を使ってできること			
・針と糸を使ってできることを見つけよう。 p.24	1	①針と糸を使ってできることを自分の家庭生活とも関連付けながら見つけて話し合う。	[思判表]発言・記録
(2)手ぬいにトライ！			
・玉結び・玉どめ・なみぬい・返しぬい・ボタン付けが正しく安全にできるようになろう。 p.25～29	7	①さいほう用具の名前や安全なあつかい方を考える。 ②玉結び・玉どめ・ボタン付け・なみぬい・返しぬい・かがりぬいについて、各技能を理解する。 ③目的に応じたぬい方を考える。 ④小物製作について、手順を考えながら計画を立てる。 ⑤小物を製作する。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)手ぬいのよさを生活に生かそう			
・手ぬいのよさを生かしてやってみたいことを考え、計画しよう。 p.30	1	①ステップ 1, 2 の学習をふり返り、交流する。 ②今後、自分の生活に生かせそうなことを考える。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

大題材名	4. 持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方			教科書のページ	p.32～39
配当時数	6 時間	活動時期	9～10 月	学習指導要領の内容	C(1)ア(ア)(イ)イ, (2)アイ

大題材の目標		物や金銭の使い方と買い物について、「持続可能な社会の構築」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、消費者として、物の選び方、買い方、使い方を考え、工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。
	思考・判断・表現	物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)上手に選ぶために考えよう			
・消費者の役割とは何か考えよう。 物を手に入れるためのいろいろな方法を見つけよう。 p.32～33	1	①イラストを参考に、私たちはどのように物と関わって生活しているのかを考える。 ②消費者の役割について考える。 ③どのような方法で必要なものを手に入れるのかについて考える。	[思判表]発言・記録
(2)買い物の仕方について考えよう			
・目的に合った選び方、買い方ができるようにしよう。 p.34～37	4	①買い物の中で契約が成立する場面を考える。 ②買い物の方法や支払いの方法を考える。 ③買い物をするとき、何をどのように選ぶか、買い方の手順を考える。 ④買い物の場面を想定して、情報を集め、整理し、何を選ぶかを決める。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)上手に暮らそう			
・上手な物の選び方、使い方の学習を生かして、環境に配慮した生活を工夫しよう。 p.38～39	1	①消費者として持続可能な生活について、買い物と環境とのかかわりを知る。 ②自分らしい持続可能な生活の工夫を、カードなどにまとめて発表したり、発信したりする。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

大題材名	5. 食べて元気！ご飯とみそ汁			教科書のページ	p.40～49
配当時数	10 時間	活動時期	10～11 月	学習指導要領の内容	B(1)ア, (2)ア(ア)(イ)(ウ)(オ)イ, (3)ア(ア)(イ)

大題材の目標		食事の役割と栄養，伝統的な日常食であるご飯及びみそ汁の調理について，「健康・快適・安全」などの視点から，課題をもって，基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ，調理計画を考え，調理の仕方を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	食事の役割と栄養について理解しているとともに，伝統的な日常食であるご飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について理解し，適切にできる。
	思考・判断・表現	食事の役割と栄養，伝統的な日常食であるご飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し，さまざまな解決方法を考え，実践を評価・改善し，考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として，生活をよりよくしようと，食事の役割や調理の基礎について，課題の解決に向けて主体的に取り組んだり，ふり返って改善したりして，生活を工夫し，実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)毎日の食事を見つめよう			
・毎日の食事をふり返り，どのような物を食べているのか考えよう。 p.40	1	①教科書の写真の料理にはどのような食品が使われているのかを考え，何のためにいろいろな食品を組み合わせさせて食べているのかを話し合う。 ②ご飯とみそ汁の作り方や食事の必要性について，これから学んでいくことを知り，学習の見通しを立てる。	[思判表]発言・記録
(2)日常の食事のとり方を考えて，調理しよう ★他教科との関連:社会, 理科, 体育			
・伝統的な日常食であるご飯とみそ汁を作ろう。また，食事の役割や栄養バランスを考えよう。 p.41～47	8	①米やみそについて知り，ご飯のたき方を調べる。 ②ご飯をたきながら，たかれている様子を観察する。 ③だしについて知り，みそ汁の作り方を調べる。 ④計画に沿って，みそ汁を調理する。 ⑤栄養素の種類と働きについて知る。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)食生活を工夫しよう			
・ご飯やみそ汁の調理で身につけたことを家庭生活に生かそう。 p.48～49	1	①調理実習をふり返り，ご飯とみそ汁をおいしく作るためのポイントを話し合う。 ②学んだことを生かして，「わが家のとっておきのみそ汁」を考える。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

大題材名	6. 物を生かして住みやすく			教科書のページ	p.50～57
配当時数	7 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容	B(6)ア(イ)イ C(2)アイ

大題材の目標		気持ちのよい住まい方について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、住まいの整理・整頓や清掃の仕方、環境や資源を大切に物の使い方などを考え、工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	住まいの整理・整頓や清掃の必要性や仕方について理解しているとともに、適切にできる。
	思考・判断・表現	住まいの整理・整頓や清掃の仕方や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)身の回りや生活の場を見つめよう			
・身の回りを気持ちよい場所にするために必要な仕事を見つけよう。 p.50～51	1	①扉の写真を見て、困ることは何か、またどう改善したらよいかを話し合う。	[思判表]発言・記録
(2)身の回りをきれいにしよう			
・整理・整頓やそうじの必要性が分かり、それらの適切な仕方を考え、手順に沿って実践しよう。 p.52～55	5	①手順に沿って道具箱の整理・整頓をし、工夫したことを話し合う。 ②学校内のよごれを調べて記録する。 ③その記録をもとに毎日のそうじの問題点や改善点を話し合う。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)物を生かして快適に生活しよう ★他教科との関連: 社会			
・これまでに学習したことを生かして気持ちよく住むための計画を立てよう。 p.56～57	1	①自分の地域ごみの出し方の決まりを調べてまとめる ②学習したことを下級生に伝え、学校や家庭、地域で活用する計画を立てる。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

大題材名	7. 気持ちがつながる 家族の時間			教科書の ページ	p.58～60
配当時数	2 時間	活動時期	12 月	学習指導要 領の内容	A(3)ア(ア)イ

大題材の目標		家族との関わりについて、家族の「協力」などの視点から、課題をもって、家族とのふれ合いや団らんの大切さを理解し、よりよい関わりを考え、工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	家族とのふれ合いや団らんの大切さについて理解している。
	思考・判断・表現	家族とのよりよい関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に 取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)家族とふれ合う時間を見つけよう			
・ 団らんのよさを見つけよう。 p.58	0.5	①教科書 p. 58 の 4 つのイラストにえがかれた家族のふれ合いや団らんの様子を見ながら、自分の家庭をふり返り、団らんのよさを見つける。	[思判表]発言・記録
(2)わが家流団らんタイム			
・ 団らんの計画をし、実践しよう。 p.59	1	①「わが家流団らんタイム」の計画を考え、実践する。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)団らんを生活の中に生かそう			
・ 家族のつながりを深めるための工夫をして、生活の中で実践しよう。 p.60	0.5	①友達の工夫やアドバイスを参考に、さらに豊かな家庭生活にするために、家族とのつながりを深める工夫をする。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

大題材名	8. ミシンにトライ！手作りで楽しい生活			教科書のページ	p.62～72
配当時数	11 時間	活動時期	1～3 月	学習指導要領の内容	B(5)ア(ア)(イ)イ

大題材の目標		生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、製作計画を考え、製作を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	製作計画やミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。
	思考・判断・表現	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)ミシンぬいのよさを見つけよう			
・身の回りの布製品を見つめ、ミシンでぬわれた物のぬい目やぬい方の特徴を見つけよう。 p.62～63	1	①体育着ぶくろや手さげなど、学校生活で使っている布製品を観察し、分かったことを話し合う。 ②手ぬいと比べるなどして、ミシンぬいの特徴を理解する。	[思判表]発言・記録
(2)ミシンにトライ！			
・安全なミシンの使い方を身につけ、計画を立てて生活に役立つ物を作ろう。 p.64～71	9	①ミシンの各部の名前を覚えながら、正しいミシンの使い方や気をつけることを考える。 ②安全に気をつけながら、ミシンの使い方を練習する。 ③製作する物を決める。 ④材料や手順を考えて計画を立てる。 ⑤製作する。授業の終わりには、毎回、ふり返りをする。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)世界に一つだけの作品を楽しく使おう			
・手ぬいやミシンぬいのよさに気づき、作品やぬい方を生活に生かそう。 p.72	1	①製作した作品を友達と見せ合い、どのように生活に役立たせるか、生活を楽しむことができるかを話し合う。 ②友達の作品を参考にして、次にミシンを使って製作したい物を考える。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

大題材名	5年生のまとめ			教科書のページ	p.73
配当時数	1時間	活動時期	3月	学習指導要領の内容	A(1)ア

大題材の目標		5年生の学習でできるようになったことをふり返って、家庭や地域に生かそう。			
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	-			
	思考・判断・表現	-			
	主体的に学習に取り組む態度	これまでの学習をふり返ってできるようになったことを確認し、家庭の一員として生活をよりよくしようと工夫し、家庭や地域で実践しようとしている。			

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)1年間の自分の記録をふり返ろう			
・1年間の「成長の記録」をふり返ろう。 p.3		① p.3「成長の記録」をふり返り、気づいたことや思ったことをとなりの友達と話し合う。	[態度]発言・行動観察
(2)1年間の学習についてふり返ろう			
・1年間の学習全体についてふり返ろう。 p.73		① p.73の「活動」(よくできたり分かったりした題材のチェックボックスにしるしを付ける)を行う。 ② 「私が工夫したことは……」の欄に自分の実践について記入する。	[態度]発言・行動観察
(3)これからやってみたいことを考えよう			
・1年間の学習での自分の成長の自覚と6年生の学習への願いや希望の発表しよう。 p.73		① 1年間の学習の中で自分なりに工夫できたことやがんばったこと、これからやってみたいことなどを発表し合う。	[態度]発言・行動観察